事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

○この「放課後等デイサービス自己評価表(公表)」は、従業員により事業所の評価をおこなっていただき、その結果を集計したも のです。

公表 :令和4年3月 ホームページ ぽっぽ新聞4月号

<u>事業所名 児童デイサービスハートぽっぽEAST</u> <u>従業員数 8名 回答数 8 名 割合 1 0 0 0 0 %</u>

		チェック項目	回答割合	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの 関係で適切であるか	■はい ■ どちらでも ない ■ いいえ	車椅子ご利用のお子さんが多く座位保持椅子と車椅子で狭く感じる日もある。座位保持椅子を使用した際の車椅子置き場を検討中。 トイレがもう一つ横に慣れる場所が欲しい。
	2	職員の配置数は適切であるか	■はい ■ どちらでも ない ■ いいえ	通常の活動はしっかり人員配置ができている。 イベント等活動の内容によっては増員する必要があり、実施している。
	3	事業所の設備等について、バリアフ リー化の配慮が適切になされているか	はいどちらでもないいいえ	子どもたちの過ごしやすい環境は当然 だが、スタッフの働きやすい環境も合 わせて随時検討している。
	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	■はい ■ どちらでも ない ■ いいえ	週1回のミーティングの他に、必要とあれば随時検討会を開いている。
	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によ りアンケート調査を実施して保護者等 の意向等を把握し、業務改善につなげ ているか	■はい ■ どちらでも ない ■ いいえ	遅くても年度末までには実施し、新年度に向け対応できるように努力している。 (ご意見をいただいた保護者にも個別に対応している。)

業務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報 やホームページ等で公開しているか	100%	■はい■どちらでもない■いいえ	ぽっぽ新聞に掲載、HPで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結 果を業務改善につなげているか	100%	はいどちらでもないいいえ	第三者外部評価とは異なるが、センターやOTの方に定期的に来ていただき、アドバイスをもらっている。各児童に合わせた支援を考えている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修 の機会を確保しているか	100%	はいどちらでもないいいえ	全職員が参加できるように配慮している。外部研修の後は参加者がミーティングで報告し、情報を共有する。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと 保護者のニーズや課題を客観的に分析 した上で、放課後等デイサービス計画 を作成しているか	100%	はいどちらでもないいいえ	作成者の主観に偏らないように、いろんな職員からの情報を収集し作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るため に、標準化されたアセスメントツール を使用しているか	100%	はいどちらでもないいいえ	使用しているが、さらに適切なツール を検討していく。
	11)	活動プログラムの立案をチームで行っ ているか	100%	はいどちらでもないいいえ	ミーティングで意見を出し合いプログ ラムを立案、実施、見直しを繰り返し ている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工 夫しているか	25% 75%	■はい■どちらでもない■いいえ	下校時間が遅く、活動時間が短い日は 同じプログラムになりがちなので、毎 週ミーティングで意見を出し合いプロ グラムを決めている。

	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題 をきめ細やかに設定して支援している か		放課後、祝祭日や学校の長期休業日な ちらでも ど活動時間の長さによって、活動の計 画を立てている。
適切な支援の提供	(14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	■は ■どっな ■い	で出来る事、支援すること事を見極 ちらでも め、何よりもご本人が楽しんでもらえ るような活動を個別、集団活動を組み
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを し、その日行われる支援の内容や役割 分担について確認しているか	■は ■ ど な ■ い	出勤時間が異なるので、全員捌わない 日もあるが、当日の活動の確認、児童 の情報、各職員の意見、報告、事務連
	(6)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	CONTROL CONTRO	退勤時間が異なるので、全員揃うこと ちらでも はないが、毎日振り返り意見交換は実 施している。
	17)	日々の支援に関して正しく記録をとる ことを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか	■は ■と な ■い	告。 ちらでも 日々責任者が確認し、不備な点はその 都度指導している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後 等デイサービス計画の見直しの必要性 を判断しているか	■は ■ど な ■い	半年ごとにモニタリングを行い、ご本 ちらでも 人、保護者のご意見、ご希望を伺いな がら随時見直し、作成している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数 組み合わせて支援を行っているか	■は ■ ど な ■ い	基本的役割は理解し遂行しているが、 ちらでも 活動内容等、善処すべく日々検討を重 ねている。

	20	障害児相談支援事業所のサービス担当 者会議にその子どもの状況に精通した 最もふさわしい者が参画しているか	100%	はいどちらでもないいいえ	その子どもとの関わりの深い状況を把握しているスタッフが参加。責任者も同席することが多い。
	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予 定等の交換、子どもの下校時刻の確認 等)、連絡調整(送迎時の対応、トラ ブル発生時の連絡)を適切に行ってい るか	100%	はいどちらでもないいいえ	支援学校の先生方とは良い関係性のもと、情報共有ができている。 学校行事にも参加させていただき、いろんなご協力もしていただいている。
	22	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を 整えているか	100%	はいどちらでもないいいえ	現在医療的ケアが必要な子どもはいない。
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚 園、認定こども園、児童発達支援事業 所等との間で情報共有と相互理解に努 めているか	100%	はいどちらでもないいいえ	受け入れ前の情報は得られている。 就学後も、情報交換をし一緒に支援し てもらえている。
	24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス 事業所から障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容 等の情報を提供する等しているか	38%	はいどちらでもないいいえ	卒業生はまだ多くはないが、情報の提供は行ってきている。
	25)	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	はいどちらでもないいいえ	より多くのスタッフが参加できるよう に勤務調整している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流 や、障害のない子どもと活動する機会 があるか	71%	■はい■どちらでもない■いいえ	コロナ禍で、今年度は難しかった。 今後計画を立てていきたい。

	7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に 参加しているか	100%	はいどちらでもないいいえ	参加している。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え 合い、子どもの発達の状況や課題につ いて共通理解を持っているか	100%		お子さんに変化が感じられた際は、こちらからも連絡をさせていただき、情報を得ている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	25% 75%	はいどちらでもないいいえ	全保護者に対応できていない。 問題を抱えている保護者には面談の機 会を増やしている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っているか	100%	はいどちらでもないいいえ	契約時に説明させていただいている が、改定の際もすぐにお知らせしてい る。
	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する 相談に適切に応じ、必要な助言と支援 を行っているか	38%	はいどちらでもないいいえ	保護者の子育てに関する不安や負担感 を把握し、保護者支援の課題を明らか にするよう努めている。
	32)	父母の会の活動を支援したり、保護者 会等を開催する等により、保護者同士 の連携を支援しているか	0% 37% 63%	はいどちらでもないいいえ	・保護者会は開催していないが、保護者の方々の情報交換や連携のお手伝いはさせていただいている。 コロナが落ち着いたら保護者会、講習会、研修会の開催を検討中。
	33	子どもや保護者からの苦情について、 対応の体制を整備するとともに、子ど もや保護者に周知し、苦情があった場 合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	はいどちらでもないいいえ	苦情窓口、担当者を周知。 気になることがあったらすぐに連絡し ていただくように周知。 速やかに対応、解決に向け努力してい る。

	34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や 行事予定、連絡体制等の情報を子ども や保護者に対して発信しているか	100%	はいどちらでもないいいえ	ぱっぽ新聞で活動内容、行事予定、事 務連絡等のお知らせをしている。
	35)	個人情報に十分注意しているか	100%	はいどちらでもないいいえ	書類の保管の仕方や個人情報守秘義務 等、ミーティングで周知している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮をしてい るか	100%	はいどちらでもないいいえ	言語、非言語のコミュニケーション能力をスタッフが学び、子どもと向き合う。 代読、代筆、手話、サイン、コミュニケーションボードなどの活用しているものもあるが、さらに手段を学び支援の向上をはかる。
	3	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている か	38% 62%	はいどちらでもないいいえ	コロナ禍で実施は難しかった。 高校生や、大学生のボランティアを積 極的に受け入れている。今後も風通し のよい事業所を目指し、地域の方と一 緒に楽しめるイベントや事業所公開を 企画していく。
	38)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、 職員や保護者に周知しているか	100%	はいどちらでもないいいえ	保護者に対しては面談の際に見ていただいている。 必要に応じ、いつでも見てもらえることを周知している。 内容改編の際は随時お知らせする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避 難、救出その他必要な訓練を行ってい るか	100%	はいどちらでもないいいえ	事業所での訓練は定期的に行っているが、まだ不備な点が多いので、地域のネットワーク作りを検討する場を設けている。
非常時等	40	虐待を防止するため、職員の研修機会 を確保する等、適切な対応をしている か	100%	はいどちらでもないいいえ	内部研修を定期的に実施。 外部研修に参加した職員がミーティン グで報告。 全職員が研修に参加できるようにして いる。

ずの対応	41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	はいどちらでもないいいえ	契約時には説明をし、必要がある場合は個別支援計画に記載している。 (障害特性により、手を口に入れてしまうお子さんの皮膚の状態が悪化してしまうため、ミトンをする等、保護者からのご指示があった場合など)
	42)	食物アレルギーのある子どもについ て、医師の指示書に基づく対応がされ ているか	100%	はいどちらでもないいいえ	契約面談の際、確認させていただく。 状況の変化に伴い情報をいただく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所 内で共有しているか	100%	はいどちらでもないいいえ	毎週のミーティングでヒヤリハット報告があった場合は発表し、話し合い、 再発防止に努めている。